

議会だより

# かみやま

第 27 号

2015.11.13

9月定例会



広野地区大運動会／神山東中学校校庭／9月13日

9月定例会は、平成27年9月10日から17日まで8日間の会期で開催した。提出議案は、27年度補正予算4件、26年度決算認定5件、条例の制定1件、条例の一部改正6件、人事案件2件、報告2件など20議案を審議し、すべて認定、可決、同意した。

一般質問では5議員が登壇し（5～9ページに掲載）それぞれ町の考えを質問した。

日	平成27年9月定例会議案事項・その他	掲載頁
第1日	町長からの行政報告	3頁
	平成27年度一般会計補正予算（第3号）について【上程・審議保留】 平成27年度特別会計補正予算（第2号）について【上程・審議保留】 （国民健康保険・簡易水道事業・介護保険）	4頁
	条例の制定及び一部改正 ・神山町消防団条例の一部改正について ・神山町個人情報保護条例の一部改正について ・神山町地域支援事業利用料徴収条例の一部改正等について ・神山町手数料条例の一部改正について ・神山町子どもはぐくみ医療費の助成に関する条例の一部改正について ・神山町生活管理支援事業利用料徴収条例の制定について ・神山町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	
第2日	平成26年度神山町一般会計歳入歳出決算認定について【上程・審議保留】 平成26年度神山町特別会計歳入歳出決算認定について【上程・審議保留】 （国民健康保険・簡易水道事業・介護保険・後期高齢者医療） 監査委員意見書陳述・決算関係書類審査	10-11頁
第5日	一般質問 西崎哲夫議員、樫本雄一議員、細井成富議員 木元史幸議員、森本吉治議員	5-9頁
第6日	町内視察（NPO法人里山みらい） 決算関係書類審査	13頁 11頁
第8日	第1日保留議案の審議【審議・可決】 第2日保留議案の審議（決算認定）【審議・認定】 人事議案【上程・同意】 神山町固定資産評価審査委員会委員の選任 人権擁護委員候補者の推薦 その他（議員派遣・委員会閉会中の継続調査）【上程・決定】	

※第3日・4日は休日、第7日はその他の理由により休会とした。

# 行政報告

(神山町長)

祝 神山町制施行60周年記念式典



町政施行60周年式典  
10月18日

東京すだち遍路（地域おこし協力隊の事業展開で、すだちを利用してもらう飲食店の拡販）

昨年は12店舗が協賛、今年は40店舗と広がりをみせる。渋谷ロフト本店で『神山暮らし展』を開催。映像での紹介、特産品を展示し賑わいをみせた。

『第60回目黒のさんま祭り』

に協賛し、今年もすだちのつかみ取りが大人気。持参のすだちが完売する盛況ぶりであった。

高校生にも医療費無償

現在中学生まで医療費を無料としているが、来年四月から高校生も無料とする。

台風被害

7月の11号台風により河川6か所、町道15か所、被災額2億250万円程度、農地農業用施設は農地6か所、施設6か所の被災額2、270万円程度、林道9か所、1億2、000万円程度の被災額が発生。

マイナンバー制度(番号制度)

『行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用に関する法律』なかなか周知されていないが、10月より各世帯に通知され、来年1月より活用される。

5年に一度の国勢調査

調査期間は9月10日から10月20日まで。調査結果は行政だけでなく民間企業や研究機関などでさまざまな基データとして活用される。

水道対策費

水不足対策として個人が飲料水供給施設を改修する場合補助金200万円を計上していたが、申請者の増加により100万円を追加計上する。

低迷する林業の活性化へ新たに設立した、町林業活性化協議会に補助金を

伐採、製材、販売、住宅の建設、すべてにおいて神山に関わって町産材を活用した供給システムを構築し林業の活性化に寄与。

介護予防事業が変る

介護予防事業で制度改革が行われ、民間によるサービスを受け的事业が可能となる。旧鬼籠野幼稚園を利用してNPO法人がサービスの提供を行う。

# 補正予算

( ) は予算総額

## 平成27年度予算

一般会計（3号）	補正額	4億8286万円（48億3679万円）
国民健康保険特別会計（2号）	補正額	31万円（10億9063万円）
簡易水道事業特別会計（2号）	補正額	0万円（1億7302万円）
介護保険特別会計（2号）	補正額	1181万円（10億6958万円）
予算合計	補正額	4億9498万円

課名	補正予算の主な内容	
総務課	・ 時間外勤務手当	400万円
	・ 町政施行60周年記念要覧作成業務委託料	△216万円
	・ 番号制度対応システム改修委託料	500万円
住民課	・ 番号制度窓口用機器購入費	81万円
税務 保険課	・ 保険税還付金	150万円
	・ 前年分療養給付費負担金返納金	160万円
健康 福祉 課	・ 介護予防サービス給付費	△468万円
	・ 介護予防・生活支援サービス施設整備工事	869万円
	・ 総合事業共同事業負担金	572万円
	・ 生活支援サービス等事業補助金	300万円
	・ 生活管理支援短期宿泊事業委託料	62万円
	・ 介護予防支援事業委託料	86万円
・ 総合事業ケアマネジメント事業委託料	75万円	
産業 観光 課	・ 農作物被害対策施設整備補助金	120万円
	・ 次世代園芸産地創生事業補助金	96万円
	・ 町林業活性化協議会補助金	10万円
	・ 神山温泉駐車場等整備設計委託料	150万円
農業委員会	・ 農地実態調査調査員報酬	530万円
建設 課	・ 小規模飲料水供給施設応急対策補助金	100万円
	・ 橋りょう点検業務委託料	210万円
	・ 道路修繕料	100万円
	・ 現年発生農地農業用施設災害復旧工事	2200万円
	・ 現年発生農地農業用施設単独災害復旧工事	400万円
	・ 測量設計委託料（林道倉羅川井峠線）	1000万円
	・ 現年林道災害復旧工事（林道倉羅川井峠線他）	1億8000万円
	・ 現年発生公共土木施設災害復旧工事（西久地殿宮線他）	2億4000万円
・ 現年発生公共土木施設単独災害復旧工事	1000万円	
教育委員会	・ 郷土資料館改修工事	210万円

# 一般質問



西崎哲夫 議員

**質問**  
下分鍋岩地区及び周辺は、特別土砂災害警戒区域等々の指定区域となっている。

唯一の指定避難場所であった、旧左右内小学校体育館も、指定区域内にあり、現在左右内地区内に指定避難場所が無い。当該地域は地域力が極めて弱く、高齢化が極めて進行し、男性が極めて少なく女性が大半を占め、独居高齢者世帯も多い。災害発生時、又避難勧告指示が出た場合を想定した、常日頃からの心構えや、集団行動の必須からして、地域自主防災会の立ち上げが大切な要件と自覚しながらも、組織の立ち上げを阻

地域力が弱く、土砂災害警戒区域等々に該当する地域の、自主防災組織の立ち上げ運営の行政指導について

む要件が多く、独自では難しいのが現状である。

こうした課題地域に対して、組織化、運営について立ち入った行政指導が必要でないか。

**答弁**（町長）

下分鍋岩地区の地すべり指定、あるいは土砂災害の特別警戒区域になっている、そして鍋岩地区の世帯の年齢構成あるいは男女等々の状況をお示しいただいて、自主防災組織の立ち上げに対し行政の関与、特に踏み込んだ、立ち上げに向けて指導していく必要が問われた。

今日までも、自主防災組織の立ち上げということについては、担当等が出向いて、打ち合わせをしながら自主防災組織が立ち上がってきているというの

が現状である。  
この地域についても、そういった姿勢、考え方というのは同一と考えている。



下分鍋岩地区

# 一般質問



櫻本雄一 議員

質問  
神山町は、台風や集中豪雨による地すべりや崖崩れ、河川の氾濫等の危険箇所が多く、巨大地震も近い将来起こると言われている。

町では、国県と連携して治山治水事業の実施や災害発生防止、防災体制の強化を進められているが、地震等の落石により、住宅がいつ、つぶされるのか危険にさらされている所や台風や集中豪雨でいつ土石流で流されるのだろうかと不安を抱えながら暮らしている所がある。特に人命に関わる災害は起こってからは遅いと思うがその対策は。

## 危険住宅対策

### 町でできるのは県単急傾斜崩壊対策事業だけ

答弁（建設課長）

県の危険箇所の指定は、急傾斜で土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域、地すべりで土砂災害警戒区域、土石流においても土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域があり、また地すべりの指定急傾斜地崩壊危険箇所などの指定がある。

災害防除工事は、町で行っている災害関係で農地農業施設の災害復旧、林道の災害復旧、それと公共施設の災害復旧事業、それと唯一防災工事として、個人の家の裏で災害から家を守る、県の補助2分の1、個人負担15から22パーセントで行っている県単急傾斜地崩壊対策事業があるが、その他の防災事業は、全くない状況である。現在災害により被害が発生し

た場合、町で対応できない場合には県の関係部所の方に現場を見てもらい対応している。

町でできるのは、県単急傾斜の崩壊対策事業だけで、ここ過去5年間、15件ほど家の裏については、県の補助により実施している。  
今26か所程待ってもらっている家があるが、少しでも解決するよう要望している。



崩落すると住宅を直撃する恐れのある大岩

# 一般質問



細井成富 議員

県道石井神山線歯ノ辻地区から南行者野までの交通状況をご様に認識しているか。

**答弁**（町長）

県道石井神山線の歯ノ辻地区、特に行者野橋が代表と思うけれども、この地区は交通渋滞の頻繁に発生する箇所、特に朝夕の通勤時等のラッシュによる渋滞が頻発している。

住民の方々からの声も多数耳にしている、『どなんかならんか』というような声を現実に多く聞いている。

やはり、いち早い改良、解決が必要な場所と考えている。

## 県道石井神山線歯ノ辻地区の拡幅について 消防道の整備について

**質問**

行者野橋だけでなく歯ノ辻、具体的に言いますと、消防団格納庫周辺から東側の所がカーブで非常に狭く、度々家に車が接触している。

この地区の整備計画等把握していれば説明を求めます。

**答弁**（建設課長）

民家の密集している箇所は、行者野橋の架け替え等があり、その関係で、県へ問い合わせても、まだ計画がないと聞いている。

**質問**

歯ノ辻地区の未整備区間のうち、行者野橋に近い部分で、今まで国や県にどの様な働きかけをしてきたか。具体的な運動がありましたら説明を求めます。

**答弁**（町長）

毎年知事との懇話会で、町の要望事項の一つに阿野橋と行者野橋の架け替えを直接知事に要望している。

阿野橋については二年後位で完成すると聞いている。

歯ノ辻地区の道路改良整備については知事や県当局に重ねて要望し実現に努めたい。

**質問**

消防道の河川に侵入する部分が発生するため、洪水の度に流されている。

コンクリート等水害に強い構造物に出来ないか。

**答弁**（総務課長）

河川の中に永久的な構造物を作るのは、河川の占用許可が必要で許可が下りない。

**質問**

それは、原則論で例外はないか。

**答弁**（総務課長）

原則、現時点では流れを阻害する構造物の設置は許可が頂けない状況です。過去には6か所程許可を頂いている。

**質問**

過去の例にならって申請出来ないか。

**答弁**（総務課長）

かなり古い話で占有許可を頂いた経過について把握していない。

**質問**

水害復旧費は、どの程度掛っているか。

**答弁**（総務課長）

平成二十四年度は四万円、二十五年度は十四万円、二十六年度は三十七万円、今年度は九月の時点で、既に三十万円支出です。

# 一般質問



木元史幸 議員

## 林業振興について

上乗せが必要である。

**質問**

林業に特化した、地域おこし

協力隊員を募集してはどうか。

**答弁** (町長)

神山の森林資源を活かすため

には、発想力、計画力を有する

人と、現場従事者が不足してい

る協力隊員を募集してみたい。

**質問**

神山温泉経営の安定化、地産

地消のエネルギー源を作るため

に薪ボイラーの設置をしてはど

うか。

**答弁** (町長)

リニューアルを考えた時のボ

イラー設置場所と薪のストック

ヤードをどう確保していくかを

考えなければならない。

**質問**

自伐型林業の推進について

今後は導入し、支援をしてい  
きたい。

**質問**

担い手の人材育成について

**答弁** (町長)

林業活性化協議会の一つの施

策として展開していきたい。

**答弁** (町長)  
平均面積が2・9 haである。  
担い手不足である。



徳島中央森林組合 (神領字西上角)

**質問**  
取組基本姿勢、方向性につい  
て。

**答弁** (町長)

林業活性化協議会を立ち上げ  
た。

神山産材を使った住宅の展示

販売。木質バイオマス等、多目

的な中で、林業を活性化してい

きたい。

**答弁** (産業観光課長)

過去三年間で搬出間伐が

100 ha、切り捨て間伐が

133 haである。

森林境界の明確事業を実施し

ている林業従事者の育成が必要

である。

神山産利用については補助の



# 一般質問



森本吉治 議員

## 神山東中学校校舎はどうなるのか

神山東中学校は日当たりも良く、職員室から運動場がよく見え児童の安全管理が行いやすくなるなどを考慮し、広野小学校を移転する。

### 質問

広野小学校の移転後の活用については、地元産物の販売所、住宅への改装など、地元住民からも色々なアイデアが出されているがどう考えるのか。

### 答弁（教育長）

神山東中学校の校舎は平成28年度に改装工事を行い、平成29年度から広野小学校の校舎として活用する。

その後の広野小学校校舎は、出来る限り早い時期に、地元の意見を聞ける場所を設定しながら、有効活用に向けて取り組んでいきたいと考えている。

**質問**  
来春、45年の歴史に幕を閉じ、神山中学校に統合される神山東中学校の校舎跡を、行政としてこのまま放置するのか、また有効活用を検討しているのか。

### 答弁（教育長）

本年5月に神山町教育会議で、神山東中学校が統合された後は、広野小学校を神山東中学校に移転することが決定している。

広野小学校の運動場は、校長室、職員室から見えない位置にあり児童の安全管理にも難がある。

また、台風のおり校庭が浸水をするこもあった。



神山東中学校（広野地区大運動会）

平成26年度

# 決算

一般会計と特別会計合わせ

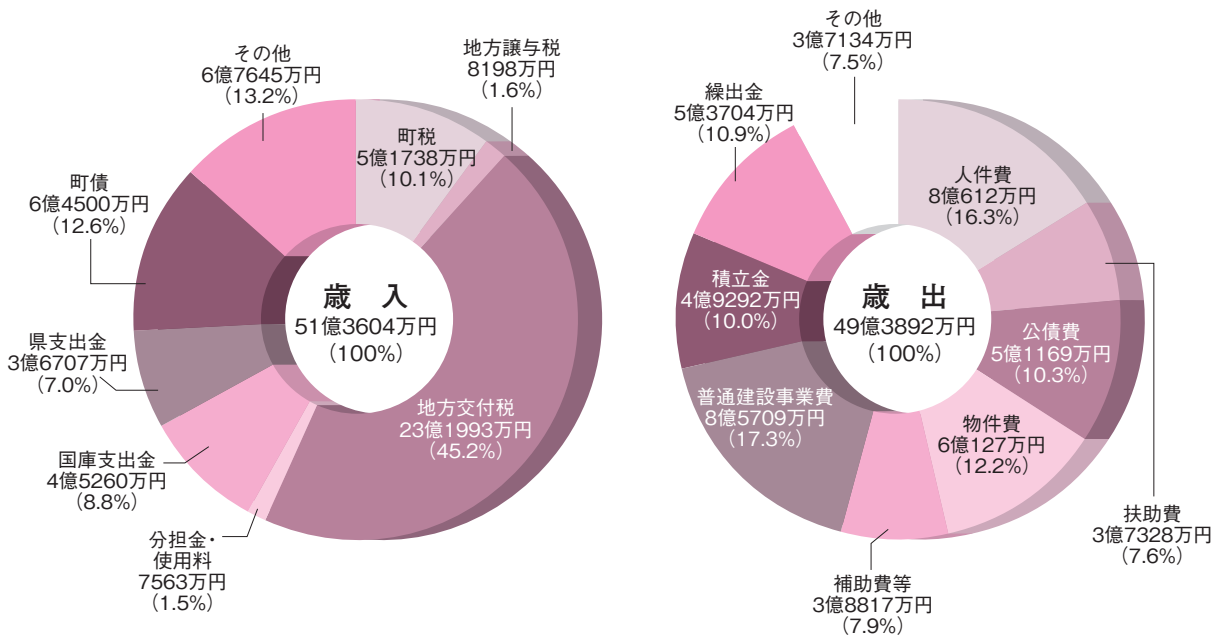
# 80億188万円を認定!!

## ●平成26年度決算状況

(単位：千円)

会計区分		一般会計	特別会計				計
			国民健康保険	簡易水道事業	介護保険	後期高齢者医療	
歳入	26年度	5,136,044	1,092,930	668,336	986,710	117,867	8,001,887
	25年度	5,014,828	1,043,343	178,374	930,424	123,222	7,290,191
	増減額	121,216	49,587	489,962	56,286	△5,355	711,696
	増減率(%)	2.4	4.8	274.7	6.0	△4.3	9.8
歳出	26年度	4,938,920	935,194	662,768	974,163	117,698	7,628,743
	25年度	4,680,557	909,116	163,339	918,963	123,046	6,795,021
	増減額	258,363	26,078	499,429	55,200	△5,348	833,722
	増減率(%)	5.5	2.9	305.8	6.0	△4.3	12.3

## ●一般会計決算の内訳



26年度普通会計地方財政状況調査に基づくもので、決算額と一致しない。

# 税の公平化と収納に努力を～町税等 滞納総額 3200万円

## ●平成26年度の財政状況

名 称	指 数		解 説
	26年度	25年度	
財 政 力 指 数	0.204	0.214	1に近く1を超えるほど財源に余裕がある。
経常収支比率	77.7	76.4	財政構造の弾力性を判断する指標で、75%程度に納まるのが妥当と考えられている。
公 債 費 比 率	2.9	4.9	一般財源に占める公債費の割合で、15%を下回るのが望ましい。
実質公債費比率	3.5	4.0	全ての事業の公債費比率で、18%以上は起債（借入金）に知事の許可が必要

## ●平成26年度町税等未収金の状況

(単位：円)

区 分	未 収 額		前年度との比較	
	26 年 度	25 年 度	増 減 額	増減率 (%)
町 税	31,258,726	32,588,300	△1,329,574	△4.1
町 営 住 宅 使 用 料	232,200	273,300	△41,100	△15.0
国 民 健 康 保 険 税	12,150,641	13,936,641	△1,786,000	△12.8
簡 易 水 道 使 用 料	96,810	42,140	54,670	129.7
介 護 保 険 料	741,000	753,900	△12,900	△1.7
後期高齢者医療保険料	106,800	149,150	△42,350	△28.4
計	44,586,177	47,743,431	△3,157,254	△6.6

借入金や基金はいくらになっているのか

●地方債残高（3月31日現在）  
74億6661万円

●基金残高（3月31日現在）

一 般	財 政 調 整 基 金	43億8,384万円
	減 債 基 金	9 億1,630万円
	その他特定目的基金	21億6,647万円
国 保	財 政 調 整 基 金	0 円
	そ の 他 の 基 金	500万円
水 道 基 金		2,128万円
介 護	介 護 給 付 費 準 備 基 金	1 億5,458万円
	そ の 他 の 基 金	0 円
計		76億4,747万円

## 平成26年度「一般会計」決算を認定

－安心安全な住み良いまちづくりの決算になったか－

決算額を前年と比較し、歳入で増加したのは繰越金の1億5564万円87.1%増、町債の1億1770万円22.3%増があげられ、逆に減少したのは国庫支出金1億5004万円24.9%減、地方交付税3556万円1.5%減などとなっている。

歳出で増加したのは、衛生費で2億0428万円86.6%増、総務費で1億0750万円9.0%増などとなっている。減少したのは消防費7792万円13.9%減、公債費4023万円7.1%減などとなっている。

増加は、災害による復旧事業、中央簡易水道施設整備事業への繰出金、減少は普通建設事業、公債費が減少したことによる。

財政では、実質公債費比率が、3.5%（昨年4.0%）で昨年度より0.5%下回っているが、さらに効率的な財政運営に努力するよう監査委員から指摘があった。

# 県外行政視察（佐賀県）

佐賀県玄海町（9月30日）

## 「ふるさと応援寄附金」の視察報告

### 町の概要

福岡から自動車道を利用し80分、日本棚田百選の認定地、棚田から海に沈む夕陽…。産業としては養殖業（鯛・フグ・カンパチ）、佐賀牛を始め施設園芸の一次産業が盛んである。何よりも原発四機が建設されている町である。

### 導入のきっかけ

礼品の提供によって「玄海町産」の名前と特産品を広め産業振興と所得の向上を目指すため平成二〇年にスタート。

### 事業の運営体制

二二年職員一名でスタート。二六年ふるさと応援対策室を設置

職員二名体制、発進力強化のためインターネット「ふるさとチョイス」と連携を図る。一口五千円以上から百万円までの七種類を用意。

### 寄附金の使途

人材育成として学習支援、補充学習、医療福祉として予防接種、医療費の助成、町長おまかせとして通学バスの購入、課題として特産品の品質向上、未参入



ふるさと納税について意見交換

生産者への機会提供、生産者の確保、礼品にかかる一般財源への負担（玄海町では35%～40%）「ふるさと」は遠きにありておもふもの」の時代は人に慎みがあった。いつくしみがあった。今の時代はどうであろうか。あの手この手のおまけ付き合戦である。（移住支援策、ふるさと納税）人と人が手をつなぐ差しのべる助け合うふるさとづくりも大切。（木元史幸）



玄海町役場前にて9月30日

### 申請件数と金額

平成26年1月現在

年度	件数	金額(円)
平成24年	860	481万7,557円
平成25年	1万1,564	2億9,571万2,353円
平成26年	4万4,360	10億5,875万150円

### 参考

神山町のふるさと納税（平成26年度）  
70件、1,379,000円

## 「学校給食にもっと地元食材を」

2日目は爆弾低気圧が佐賀県を通過した日、大荒れの中、県南部にある嬉野市に研修の場を移した。人口28000人余り、10年前に2町（塩田町、嬉野町）が合併して出来た町で当時に比べ6,000の人口減と過疎化に悩んでいた。

研修の大きな目的は学校給食に地元食材をどれだけ取り入れられているかということと、九州3大茶所である嬉野茶の販路拡大についてである。

まず、学校給食センターでは二ヶ所の調理場で市内小、中学生2,400人分の食事を作っているということ、献立にもよるが100パーセント賄えることもあれば、季節的には生産される食材が偏るので、当然な

がら地元食材だけでは無理なこともある。年間40日ぐらいではあるが、平均70パーセント地元で採れた農産物を農家さんから調達して給食の食材としているそう。

道の駅のようなところを紹介しているので、そこに納入される方は高齢者も多く、健康づくり、生きがい作りの取り組みにもなっているそうで、神山町においても、地産地消の観点からも賄える品物は地元のもの、ひとつでも多く使うことが必要と感じる。

次に嬉野市は、「玉緑茶生産量日本一」で平成20年から5年連続、農林水産大臣賞、産地賞を受賞するほどのブランド茶の産地であり60年の歴史があると



茶業研修施設「嬉茶楽館」を視察

いう。

県内の他産地では茶業が伸び悩む中、若手後継者が高品質茶生産に取り組み、最優秀の地位を確立しているとのことのように。

行政も茶農道整備事業、優良品種導入事業などで多面にわたる支援を継続している。産業建設部うれしの茶振興課という部署名があることから力の入れようが違う。

今後の取り組みでは、海外への輸出、紅茶の生産にも力を入れていると話されていた。

（森本吉治）

### 町内視察（9月15日）

（NPO法人里山みらい）

9月定例議会、第6日目にNPO法人里山みらいを視察した。

開会に当たり、冒頭に有正あかね理事長より、役職員の紹介のあいさつがあり、次いで「NPO法人里山みらい」が誕生した経緯について説明があった。役職は理事長以下6名、会員は現在三十四名である。

次に、スライドによる二十七年の事業説明があった。今後難題解決に向け、努力され、本町特産物の加工、販売に期待がかかっている。

（山本充良）



里山みらいを視察

# 広野地区大運動会

平成27年9月13日 神山東中学校校庭

神  
山  
の  
風  
景



## 議会の動き

11月

11日 第59回町村議会

議長全国大会

26日 神山町子ども議会

12月

上旬 12月定例会

20日 神山町議会議員選挙

## 編集後記

今年秋の訪れが例年にくらべ少し早いように思われる。地域の運動会や敬老会などの行事も天候に恵まれ順調に行われたが、全国的には猛烈な台風の襲来による暴風雨等により、甚大な被害を被った地域があった。

議会だよりも27号を数えたが、これからも内容を充実し読みやすい機関連誌になるよう、努めていきたいと思う。

(相原浩志)